

4 文化振興の方向性

ここでは、中央区における新たな都心コミュニティづくりを進めていくのにあたり、以下の方向性のもとで文化振興を進め、取組を行っていくことを提案します。

(1) 文化特性を活かした文化振興

中央区には、さまざまな側面を持つ豊かな文化があり、区民にとって大きな魅力となっています。中央区の文化振興にあたっては、こうした豊かな文化特性を活用していくことが不可欠であり、文化を継承するとともに、その魅力をさらに高めていくことが必要となります。

中央区の文化を継承する際は、忘れかけていた地域の文化資源を発掘したり、あらためて文化を見つめ直していくことも大切です。誰もが地域の文化を知り、地域に対する愛着や誇りを持つことにより、区民の交流が深まり、豊かなコミュニティをつくっていくことが可能になります。また、中央区の文化は、地域ごとにさまざまな魅力を持っており、それぞれの魅力に応じた活用を進めていくことも重要です。

次に、文化を継承するだけでなく、新たな文化を創造していくことも必要です。中央区の文化は、江戸以来の歴史や伝統の上に、明治維新、関東大震災や戦後の復興等において、常に新たな文化を取り入れ、築き上げてきました。中央区には、多数の文化施設が所在しており、質の高い芸術や美術品に直接触れられる機会も数多くあります。また、観光や商業のまちとして、外国人をはじめ、さまざまな人たちも集まってきます。こうした特性を活かして、すぐれた文化に触れ、異文化との出会いや交流を通じて、新たな芸術家を輩出したり、新しい文化を創造し世界に発信していくことも可能になります。

(2) 区民主体の文化振興

中央区の文化は、中央区に住む人たちの日々の生活やそこに働く事業者や来訪者など中央区にかかわってきた多くの人たちの、長年にわたるさまざまな活動や価値観等から生まれ、育まれてきたものです。したがって、文化の担い手として、

区民が主体となった文化振興を進めていくことが必要です。

そのためには、区（行政としての中央区と関係機関）は、文化の担い手でもありまたその活動を支える立場を持つ企業やNPO等とともに、区民の活動を支援していくことが重要な役割となります。支援にあたっては、区民の主体的な活動が進むよう、活動や発表の場・機会の提供、財政的な支援、活動のPR、各種関係機関に対する調整等の取組が必要となります。また、区民、町会・自治会、企業、NPO等との協力や連携が重要であり、区は、そのためのしくみづくりや調整を進めていくことが必要です。

(3) さまざまな視点による文化振興

文化には、非常に大きな力があり、広範な分野に対する影響力があります。文化振興にあたっては、まちづくり、地域経済、観光、教育、福祉等さまざまな分野において、文化の視点を取り入れていくことが必要となります。

<各分野における文化の視点の例>

ア まちづくり

江戸以来の歴史や伝統に基づく都市計画、古い由緒ある建物等を活用したまちづくり、水辺等美しい景観の維持・再現・創成

イ 地域経済、観光

文化イベントの開催等による中央区への集客、来訪者の回遊性を高めるための文化拠点の整備、外部への情報発信の強化、地元企業や商店会との連携

ウ 教育、生涯学習

学校における伝統や文化に関する教育、生涯学習における文化学習、文化ボランティアの養成・活用

エ 福祉

劇場等文化施設や生涯学習施設のバリアフリー化、高齢者や障害者等の文化活動への参加促進